

H4

環境普及啓発活動を
一緒にしませんか？

温暖化防止活動 推進員 大募集！

こんなこと、できます！

- 地域貢献活動に参加ができます。
- センターが主催する研修会に無料で参加でき、環境に関する最新情報収集や普及啓発に関するスキルが身につきます。
- 環境活動を広げるための仲間が増えます。
- 温暖化防止活動推進センターから活動支援が受けられます。

協力して頂きたいことはこんなこと

- 県や国が実施する環境普及啓発活動への協力(資料の配布や参加依頼。また自らの参加。)
- 各地で実施する環境学習会の主催やそのお手伝い
(スキルが身についてくると講師として学習会の運営をお願いすることもあります)
- 各地区で行われる環境関連のイベント参加やその運営補助

こんな方に参加して欲しい！

- 地域のために活動してみたい方
- ボランティア活動に関心のある方
- 生きがい探し
- 教えることが好きな方
- 学ぶことが好きな方
- 環境問題に関心がある方
- サークル活動を行っている方
- 無理なく続けられる方



任期は2年(継続あり)
詳しくはコチラへ！

長崎県環境政策課

住所：長崎市江戸町2番13号

TEL/095-895-2512

FAX/095-895-2566

地域からはじめよう！

※1/22から新庁舎移転いたします

環境出前講座

を開催しませんか？



「温暖化について詳しく知りたい」「家庭でも取り組める活動を紹介してほしい」といったご要望がございましたら、各地域で実施されるイベント等に、講師として推進員を派遣します。楽しい教材に子供たちも大喜び！みなさんも環境出前講座を開いてみませんか？

主婦向け

エアコンやテレビ、冷蔵庫など、講座を受けてすぐに実践できる省エネ講座。家計の節約にもなりますよ。

子ども向け

ちょっと難しい省エネも、ゲームを通して楽しく学べます。省エネは子どもたちから率先してする時代へ。

工作編

新聞紙を再利用して、エコバッグを作る講座。新聞紙がオシャレなエコバッグに変身します！

その他、様々なテーマに対応した話題をご提供可能。3週間前までにお申込下さい。

お問い合わせ



長崎県地球温暖化防止活動推進センター

住所：長崎市元船町17-1 公益財団法人ながさき地域政策研究所内

TEL:095-820-4868 FAX:020-4623-5633 <http://nccca.jp>

エコな Step

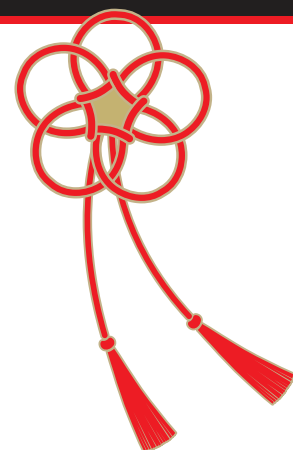
発行月 / 平成 30 年 1 月 編集 / 長崎県地球温暖化防止活動推進センター 発行 / 長崎県環境政策課
〒850-8570 長崎市江戸町 2-13 TEL / 095-895-2512 FAX / 095-895-2566 ※1/22から新庁舎移転いたします

H1



一步のエコから始めよう

新年エコはじめ



●特集

再生可能エネルギー

●太陽光発電メンテナンス
株式会社ライム石本

●COOL CHOICE
みんなの宣言

第38号

2018.01



第38号
2018.01

「E(エコ) n(なが)step(ステップ)」とは…

「エコながステップ」は「長崎県地球温暖化防止活動推進センター」が制作している環境冊子です。長崎県環境政策課より発行され、県民ひとりひとりの「ステップ」で環境への意識をアップしようという思いで制作されています。環境の最新情報や環境コラム、また県内企業や個人、団体の環境の取り組みなども紹介し、楽しく読める盛りだくさんの内容となっています。

配布先：各行政機関等（当センターへお尋ねください）
発行：4回／年

長崎県地球温暖化防止活動推進センターとは…

「地球温暖化防止活動推進センター」は、各都道府県に設置されており、長崎県の当センターもその中のひとつです。地球温暖化防止活動に関する「啓発・広報活動」、「活動支援」、「調査」などを行っており、その一環として、「エコながステップ」で情報を発信しています。※本誌内では、〈センター〉と表記

長崎県地球温暖化防止活動推進員とは…

「長崎県地球温暖化防止活動推進員」とは、地球温暖化防止のために自ら省エネルギー、省資源に取り組むとともに、地域住民の方々へ温暖化に関する情報の提供と温暖化防止活動の普及を進めてくださる方々です。県から委嘱を受け2年間の任期で推進活動を実施します。

※本誌内では、〈推進員〉と表記

発行月／平成 30年 1月
編集／長崎県地球温暖化防止活動推進センター
<http://nccca.jp>
発行／長崎県環境政策課
〒850-8570 長崎市江戸町 2-13
TEL / 095-895-2512
FAX / 095-895-2566

※1/22から新庁舎移転いたします

CONTENTS

目次

1	新年のご挨拶 長崎県地球温暖化防止活動推進センター 長 菊森 淳文
2	特集 再生可能エネルギー
4	企業訪問 太陽光発電メンテナンス株式会社ライム石本
6	再生化エネルギーの未来 再生可能エネルギーを導入して「低炭素なまちづくり」
8	COOL CHOICE まちかどCOOL CHOICE
10	エコの輪を広げよう 推進員活動紹介
12	センター・長崎県からのお知らせ



あけましておめでとうございます 戌

今年も みな様と共に 「COOL CHOICE」

あけまして、おめでとうございます。

平素より県民にみなさまにおかれましては温暖化防止へとお取り組み頂き、誠にありがとうございます。

さて、これからの時代は企業の社会的責任が益々問われ、環境との共生を無視しては企業の存続すら危ぶまれる時代になりました。また持続可能な循環型社会の構築にむけ、環境問題や地球温暖化問題の解決は避けて通れない課題です。とりわけ資源の有効利用や多様な新エネルギーの活用は、環境対策にとり最重要の取り組みです。環境問題は待ったなしの課題であり、この大きな課題の入り口は、最小単位の家庭や地域での課題でもあります。新年を迎え、新たな一年のスタート時に温暖化が進む現状と地域の課題を考え、環境問題を他人事と捕らえず「自分ごと」として考えることは、大変良いことだと思います。

現在長崎県下でも一斉に行っている「COOL CHOICE（クールチョイス）」運動は、2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のために、日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動です。

例えば、エコカーを買う、エコ住宅を建てる、エコ家電にするという「選択」、高効率な照明に替える、公共交通機関を利用するという「選択」、クールビズをはじめ、低炭素なアクションを実践するというライフスタイルの「選択」。みんながー丸となって温暖化防止に資する選択を行ってもらうため、政府・産業界・労働界・自治体・NPO等が連携して、広く国民に呼びかけていきます。

本年も環境活動が皆様とともにありますよう、心より願っております。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

長崎県地球温暖化防止活動推進センター
センター長 菊森 淳文



特集

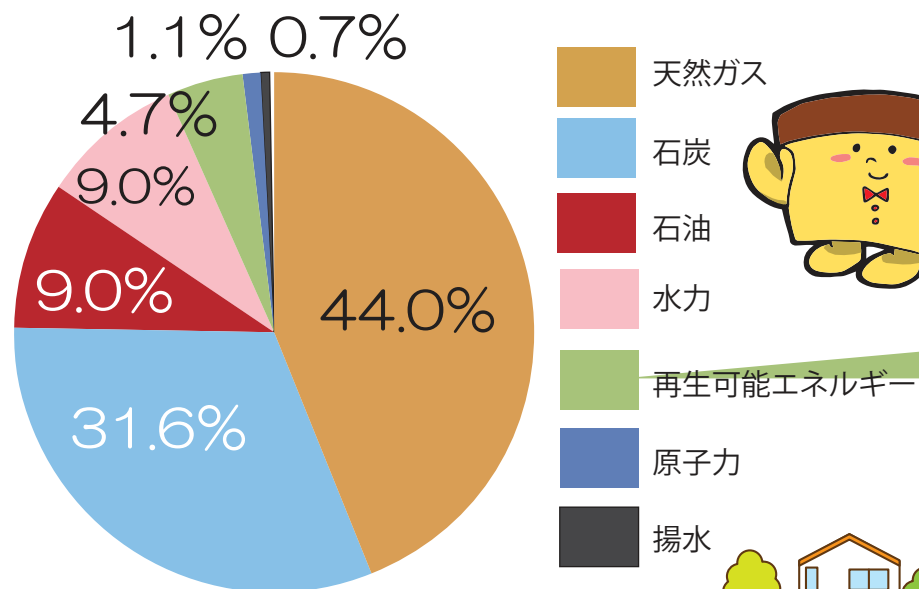
再生可能エネルギー

現在わが国の主要なエネルギー源である石油・石炭などの化石燃料は限りがあるエネルギー資源です。これに対し、**太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱**などのエネルギーは、一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、**資源が枯渇しないエネルギー**です。これらは、「再生可能エネルギー」ともいわれます。**石油等に代わるクリーンなエネルギー**として、日本はさらなる導入・普及を促進しています。



日本の年間発電電力量の構成

(2014年度)

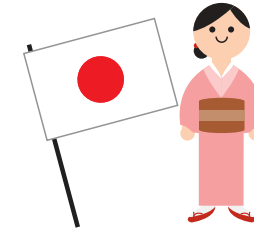


出典：経済産業省エネルギー庁「エネルギー白書2017」

歴史の長い水力発電は一般水力と揚水発電を合わせて 9.7%(※)。一方、期待されている再生可能エネルギーは 4.7%。こちらも 2009 年当時は 1.1% でしたので、3.6% 伸びましたが、それでも割合はまだ小さい状況です。これからは、クリーンなエネルギーを目指して再生可能エネルギーの割合を増やしていくのが目標です！

※**揚水式発電**：電力需要の少ない夜間に電気を使ってポンプを動かし水を高地に引揚げ、電力需要の多い昼間に、その水を使って水力発電を行うというものです。電力を使って発電をするという方式のため発電総量を増やすことには寄与しませんが、昼間の最大電力量を増やす需給バランス調整機能として活用されています。

※**参考**：電力固定価格買取制度導入以降、学校や民間などで積極的な再生可能エネルギーの導入がありましたが、今回のデータは電力会社だけが対象となっていますので、電力事業者への売電ではない自家消費分は反映されていません。



日本の目標

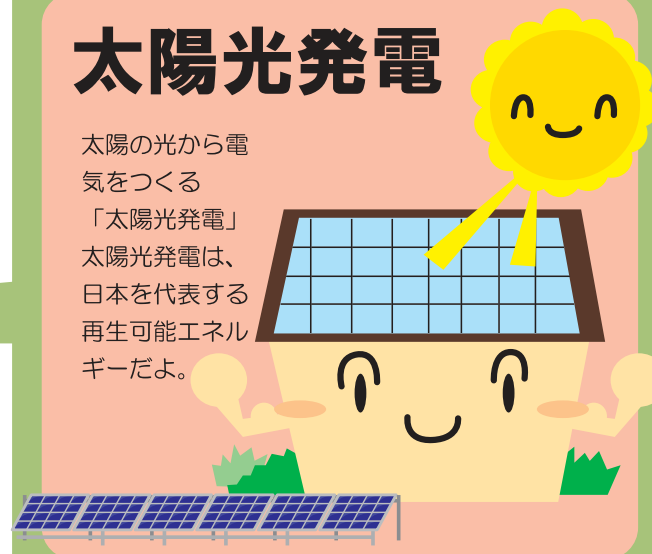
2030年再エネ導入目標

4.7% (2017年) → 22~24%

(出典：平成29年5月25日 経済産業省エネルギー・新エネルギー部)

太陽光発電

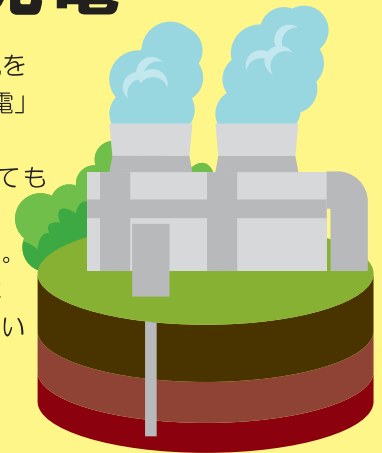
太陽の光から電気を
つくる
「太陽光発電」
太陽光発電は、
日本を代表する
再生可能エネ
ルギーだよ。



地熱発電

地熱の力で電気を
つくる「地熱発電」

地球の中はとても
熱い！
これが地熱だよ。
火山帯の日本は
地熱がいっぱい
なんだ。



風力発電

風の力で電気を
つくる
「風力発電」

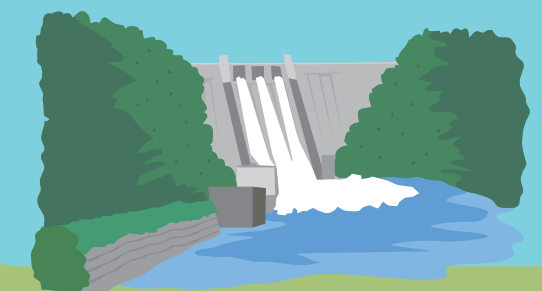
昼も夜も
しっかり発電
しますよ！



水力発電

水の力で電気を
つくる
「水力発電」

水力発電は、昔から人気のクリーンエネ
ルギーなんだよ！



太陽光発電 メンテナンス



メガソーラーではない、個人宅の屋根に設置している太陽光パネルオーナーは多くの場合、発電事業者という認識がない。電気を生み出し売電収益があるので、投資対象として施設を考えることは理解できる。しかし同時に日本の再生可能エネルギーを生み出している。個人宅のパネルがしっかりと、未来の大切なエネルギーを生み続けるために、適切なメンテナンスを当たり前のようにすることはできるのだろうか？そこで、太陽光パネル設置施工事業者である株式会社ライムイシモトの、古賀次長にお話を聞いた。

株式会社ライムイシモト

太陽光発電メンテナンスについてインタビューしてきました！

pick
up!

太陽光パネルの導入が爆発的に進んだ当初、メンテナンスフリーというキャッチフレーズがありましたね。しかし実際はパネルは汚れるのでは？

傾斜角が15度より小さいと、パネル表面の汚れを目視で確認できます。そして鳥の糞や雑草などによる影が、発電量に影響することは明らかです。

また聞くところによると、鳥や雑草以外にも石などが落下する事例もあるとか？

弊社が把握している事例では、原因不明の石が落下してパネルが破損したり、落雷による通信基盤の破損がメガソーラー案件で確認されています。鳥獣除け対策を行ったり、サージアレスターを導入するなどの対策を行いました。また個人宅の屋根では、パネルの下にハトが営巣しがれきなどが蓄積して、中にはケーブルの切断も報告されています。これらの鳥獣被害については、施工段階ではなかなか予見されにくいし、お客様もその対策を事前に行うという選択をされにくいのが現状だと思います。



そもそも個人宅にとって太陽光パネルは、車と同じような感覚で、買ったところで気軽にメンテナンスしてもらえるとこの感覚があるようなのですが？

個人のお客様にとって太陽光パネルや発電システムは「3〜4か月経過するとオブジェ」になるそうです（笑）。そうではなく、発電状況をできるだけ定期的に確認していただくことで、発電収益も確保できるし異常を早めに察知することができます。屋内に設置してあるモニターをきれいに拭いたりして、もう少しわかりがっていただくといいと思います。

なるほど（笑）。でもそれが毎日だと面倒くさいかもしれません？

そこで遠隔監視システムを介することで、太陽光パネルの発電状況を遠隔でモニタリングすることができます。施工事業者としてこれを利用すれば、お客様のパネル等の管理を行うことはできます。ただし、これは「太陽光発電管理委託」という業務で有料となりますので、先ほどと同じように、お客様に事業者としての意識がまだまだ浸透していないこともあり、コストのかかる仕組みはどうしても選ばれにくいのではないかと思います。

この「遠隔監視システム※」ですが今後はこれが有益になると？

FIT 制度が導入された当初の平成24年ごろは、遠隔監視装置といえば、もっぱらメガソーラーをはじめとした、産業用発電設備向けのシステムでした。しかしながらタブレットや携帯端末が生活必需品として浸透し、端末を介しどこにいても自宅の発電状況を目視できる、住宅向けの遠隔監視装置が普及しております。この遠隔監視装置の設置により、お客様はもとより、施工業者もいち早く発電状況の把握ができ、異常発生時の初期対応が迅速になるなど、メリットがあります。もちろん「気づかぬうちに太陽光発電がストップしていた・・・」などの不具合も早期に発見でき、発電停止による不利益も最小限にとどめることも可能です。

※出力制御システム：安定した電力を供給するために、天候に左右され、夜間は発電できない太陽光発電施設からの電力購入を遠隔で制御するシステムのことで、現在、東京、中部そして関西電力以外の電力会社管内では、このシステムを導入したパワーコンディショニングサブシステム(PCS)の設置が義務付けられています。

「今」というと、具体的な発電量などですか？

そうです。施工事業者としてお客様の設備の発電量をリアルタイムに知ることできます。そうすると、例えばそれまでの発電状況から予想される結果と大きく違ってたりすることを検知できるようになるだけでなく、その変化が、鳥の糞の付着、雑草による影そしてパネルの破損や汚れによるものなのか、そもそも設備自体に課題があるのか、的確に把握し、対応することができると、お客様にもメリットが出てくるんです。

それだけのメリット、なかなか市民に伝わっていないように思うのですか？

普通の電化製品と同じように、そのようなチェック機能も製品に初めからついているサービスと認識されているのかもしれませんが。そして一般のモノのように、メンテナンスは、当然施工してくれた会社ができること。このように認識されているのも課題なのかもしれません。

施工事業者さんはメンテナンスを業務としてできない？

発電による収益の範囲内でメンテナンス費用を設定することになりますから、個人宅の屋根に乗っている設備を対象にした、きめの細かいメンテナンスを事業化するのは現状ではとても厳しいと考えています。もちろん、今後必要な業態だとは認識していますし、私も施工業者も受け皿となる準備をしておくべきでしょう。しかし、どうしても「点」で導入が進む個人宅向け太陽光発電設備を、「面的」に管理するとなると事業性評価は全く別になると考えています。

「面的」に管理できる、スケールメリットを生かせる業態が必要だと？

そうですね。だから専門業者が必要になると考えていま



す。メンテナンスを専門に、「面的」に実施できる事業者さんがサービスを提供すれば、スケールメリットも生かせるし社会コストも低くできると思います。弊社でも現在、メガソーラー設備については、専門のメンテナンス事業者さんと契約を行っており、このような大きな事業であってもやはり「餅は餅屋」で実施するのが、コストを抑えることになるでしょう。

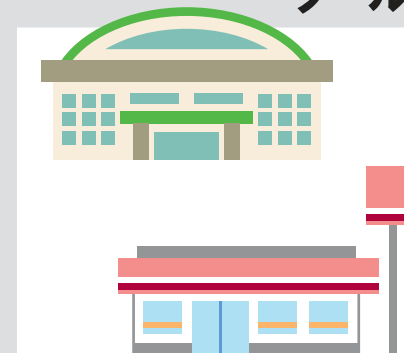
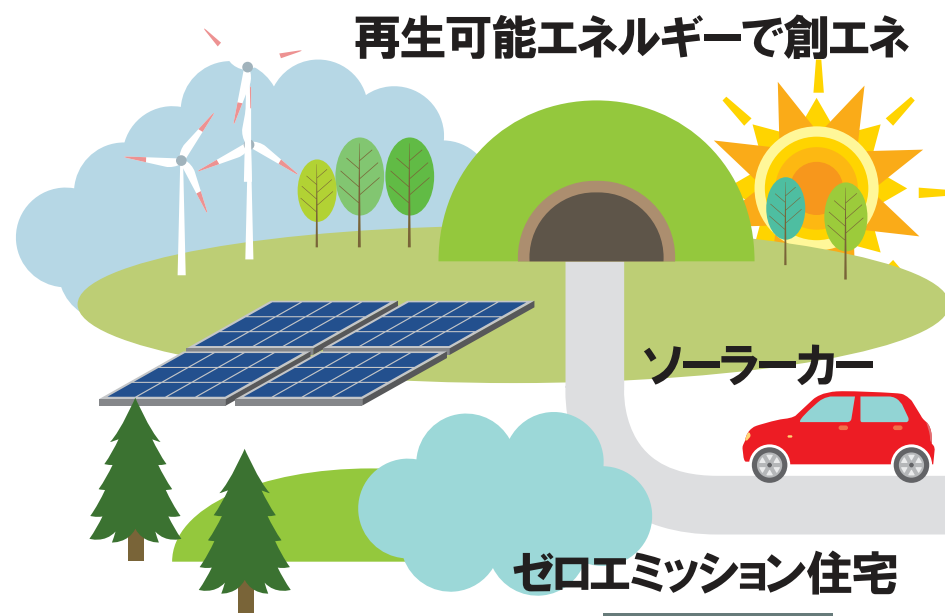
太陽光パネルにもしっかりとメンテナンスが必要なのがよくわかりました。メンテナンス分野での今後の見通しは？

まずメンテナンス業務については、メーカーが主導でその重要性の発信や仕組みの構築を率先して実施していくべきだと考えています。太陽光発電設備施工という新しい業態では、様々な事業者が参入してきており、必ずしも得意分野ではない業界からやってくるのも事実です。すでにメンテナンス協会は国内に数団体あるのですが、お客様はどうやって選んでいいものか、正しい情報がないのも現状です。そこで、パネルを製造するメーカーの技術的ノウハウと、政府の信用を合わせて、勉強会の開催や啓発を実施するとお客様は安心して選ぶことができるのではないかと考えています。そしてお客様自身も「発電事業者である」という認識を持っていただきたいと思います。現在弊社では、パネルを設置してから1年〜1年半をめどに、お客様のところに無料訪問して状況を確認しています。設置したパネルの発電状況をしっかり把握したいということと、地域企業としてお客様とともに再生可能エネルギーを推進していきたいという気持ちがあるからです。

となると今後は様々なメンテナンス事業者が表れると思います。市民が気を付けるべき点とは？

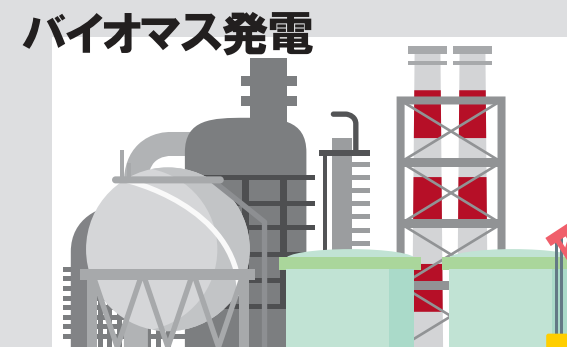
是非「今までその事業者さんがどんなことをしてきたか」を確認していただきたいと思います。弊社は昭和9年から、屋根屋としてそのノウハウを蓄積してきましたので、太陽光発電設備を屋根に乗せる場合でもほとんどトラブルが発生しません。新しい業態が始まる常ではあるのですが、しっかりと履歴を確認していただくことが重要です。また、メーカーや国といった領域では、正しい情報の普及啓発を行っていただき、そこに施工業者も協力していきたいと思っています。

再生可能エネルギーを導入して「低炭素なまちづくり」



まちづくりでは、「地球温暖化対策」「防災」「維持管理」「地域活性化」などの視点が求められています。地域の自然の恵みを活かした再生可能エネルギーは、これらの課題を広く解決できる技術として期待されています。

これまでは、導入の時代。これから
は広げる時代。そして維持管理も重要
です。

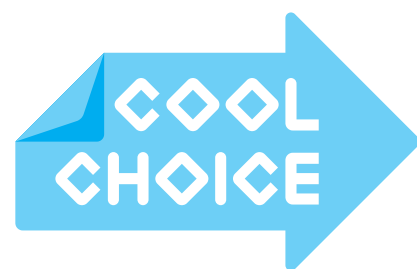


温度差熱利用



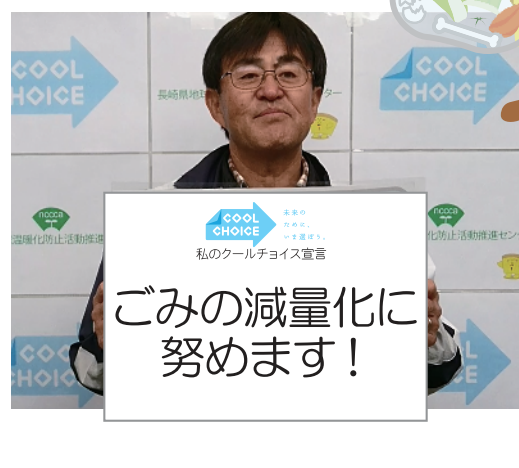
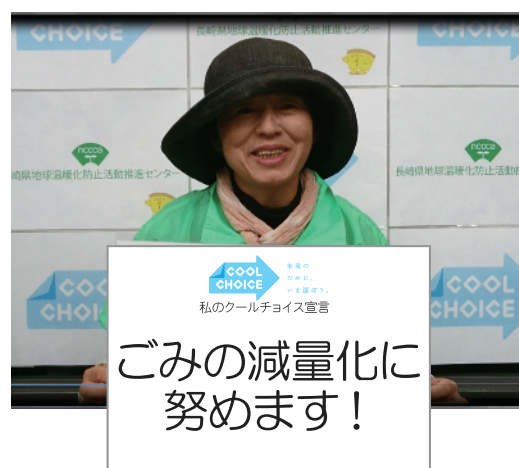
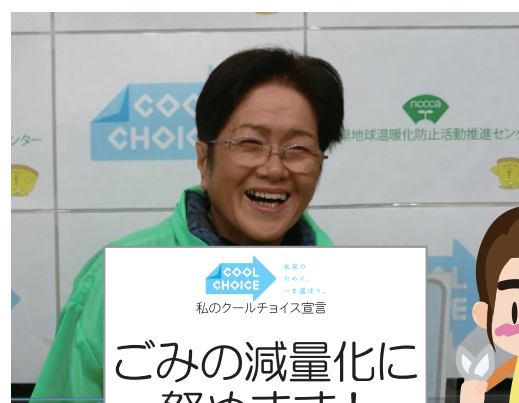
再生化エネルギーの未来





未来のために、いま選ぼう。
まちかどクールチョイス

マチで見かけた色んな方へ、自分が行っている、又はこれから行いたい「エコな暮らし」について教えていただき、写真とともに掲載するコーナーです。読者の皆様も参考にいただき、「これもエコ!」とクールチョイスな生活スタイルを発見してください。

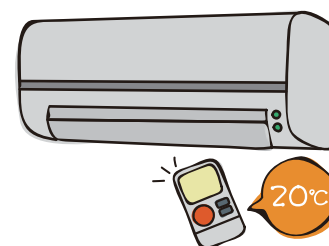
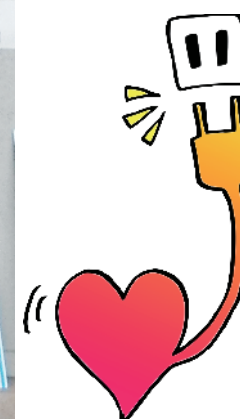


「COOL CHOICE」とは

2030 年度の温室効果ガスの排出量を 2013 年度比で 26%削減するという目標達成のために、日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動です。例えば、エコカーを買う、エコ住宅を建てる、エコ家電にするという「選択」、高効率な照明に替える、公共交通機関を利用するという「選択」、クールビズをはじめ、低炭素なアクションを実践するというライフスタイルの「選択」。みんながー丸となって温暖化防止に資する選択を行ってもらうため、統一ロゴマークを設定し、政府・産業界・労働界・自治体・NPO 等が連携して、広く国民に呼びかけていきます。



島原産業祭りで、市民、温暖化防止活動推進員、行政の皆さんと COOL CHOICE !



エコの輪を広げよう みんなで取組んだ活動

推進



長崎地区



連合長崎

11月25日(土)、長崎県勤労福祉会館において「連合長崎青年委員会第28回総会」

が実施され、その前段で「環境学習会」を開催し、地球温暖化の現状について学びました。(講師:センターアドバイザー松嶋範行)みなさん熱心にメモを取り、改めて温暖化防止について取り組みが必要なることを実感した様子でした。

佐世保地区



させぼっくす99

11月26日の「ながさきサンセットロード」の日に前に、11月18日(土)県内11カ所で

ボランティアによる一斉清掃イベントが開催され、させぼっくす99周辺でも、ゴミ拾いや除草作業を行い、トラック2台分のゴミを回収しました。活動後、当センターによるミニ講座に参加していただき、COOL CHOICEしました!

対馬地区



学童クラブ

対馬地区では、対馬の推進員と長崎市の推進員が協力し、環境出前講座を実施しました。特に対馬地区では地域の課題として「海岸漂着ごみ」問題は重要で、子供たちに向けて、「環境問題と私たちができること」について、寸劇と本物の漂着ごみをみながら、自分たちが何ができるかを一緒に考えました。漂着ごみを展示する「トランクミュージアム」が大好評でした。

県南地区



産業祭り

11月24日・25日に島原市復興アリーナで開催された「島原産業祭り」に推進員のみなさん・行政・センターが協力して、「県南地区エコフェスコーナー」を開催しました。当日は、エコドライブや太陽光発電メンテナンス、またクールチョイス宣言、節電活動参加のお申込みコーナーなど盛りだくさん!多くの方にお立ち寄りいただき、活動にエントリーいただきました!

県北地区



環境学習会

「佐々町環境を考える会」



12月16日、佐々町地域交流センターで推進員さんの呼びかけにより環境学習会が開催されました。当日は町長もお見えになり、多くの方が集まり、温暖化の最新情報と私たちにできることについて事例発表などを行いました。今回は佐々中学校の生徒さんも参加し、ごみ分別ゲームなどを行い、楽しく環境について学ぶことができました!



上段:古庄剛佐々町長にもお越しいただき、みんなで一緒にクールチョイス!
右:ごみ分別ゲームで奮闘中の佐々中の生徒さん
下:佐々中学校の鶴田教頭先生と生徒のみなさん

エコワード

再生可能エネルギーを導入して「低炭素なまちづくり」

スマートムーブ

環境省が提唱する地球に優しいエコな移動です。

バイオマス発電

「バイオマス」を燃料として発電する方法です。バイオマスとは、生物を意味する「bio」と量を意味する「mass」から成る言葉で、化石燃料以外の生物由来の再生可能資源を指します。

ゼロエミッションビル

建築計画の工夫による日射遮蔽・自然エネルギーの利用、高断熱化、高効率化によって大幅な省エネルギーを実現した上で、太陽光発電等によってエネルギーを創り、年間に消費するエネルギー量が大幅に削減されている最先端の建築物です。

小水力発電

「小水力発電」について厳密な定義はありませんが、出力10,000kW〜30,000kW以下を「中小水力発電」と呼ぶことが多いです。

温度差熱利用

地下水、河川水、下水などの水源を熱源としたエネルギー。夏場は水温の方が温度が低く、冬場は水温の方が温度が高い。この、水の持つ熱をヒートポンプを用いて利用したものが温度差熱利用です。

水素自動車

水素をエネルギーとする自動車のことです。

2017年度 地球温暖化防止コミュニケーター 養成セミナー開催のご案内

IPCC、COPそして日本の温暖化対策計画や、国民運動「COOL CHOICE」。
最新の情報を効果的に伝える方法を学び、多くの人と地球温暖化の事を考える仲間になりませんか！

地球温暖化防止コミュニケーター養成セミナー 佐世保
2018年2月10日(土) 10:30～ 開場 10:00

定員 30名程度

時間 10:30～15:30

会場 させぼ市民活動交流プラザ
(佐世保市戸尾町 5-1)

変更の場合もあるので必ず地球温暖化防止コミュニケーター公式サイトをご確認ください

【講師】松井渉
(気象キャスターネットワーク)

Sasebo Eco Plaza

<会場のお問合せ>

させぼエコプラザ (佐世保市地球温暖化防止活動推進センター)
電話・FAX:0956-25-0055 E-mail:saseboeco@gmail.com
〒857-0864 佐世保市戸尾町5-1(旧戸尾小跡地)
火曜～土曜(日・祝休館)9:00～18:00
<http://saseboecoplaza.com/>

公共交通機関をご利用の方

1. 佐世保市営バス・西肥バス「京町バス停」下車徒歩約3分
2. 佐世保市営バス「戸尾中央通バス停」下車徒歩約1分

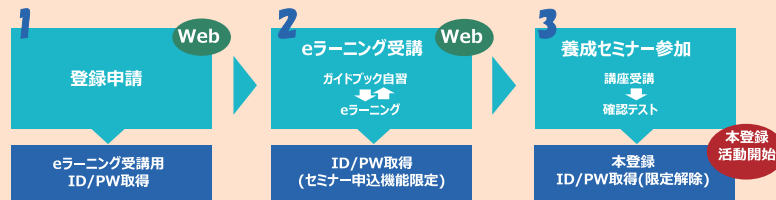
お車でお越しの方

戸尾中央通バス停側に入口がございます。
駐車場には限りがございますので、乗り合わせや公共の交通機関のご利用をお願いします。

地球温暖化防止コミュニケーターになると...

- ◎ 修了証書、コミュニケーターバッジを進呈!
- ◎ 地球温暖化に関する最新情報を、セミナーやオリジナルツール、専用サイトなどを通じて入手!
- ◎ オリジナル学習ツールやプレゼンテーションツールを“伝える”活動に使用可能! 自分なりの工夫を加えてOK!
- ◎ 同様の活動を行っている仲間との情報交換でノウハウの蓄積やスキルアップが望めます!

地球温暖化防止コミュニケーター 登録の流れ まずは「地球温暖化防止コミュニケーター公式サイト」にアクセス!



詳しい登録方法は 地球温暖化防止コミュニケーター公式サイトをご覧ください
<http://funtoshare.env.go.jp/ipcc-report/>

地球温暖化防止コミュニケーターとは

21世紀最大の課題ともいえる地球温暖化の現状や影響、そして地球温暖化防止への様々な取り組みを、広く一般の方々に伝え、地球温暖化について一緒に考えていく活動で、セミナー、イベント、出前授業から、近隣の人々の集まりなど、様々な“伝える場”で活躍しています。



地球温暖化防止
コミュニケーター

お問い合わせ: 地球温暖化防止コミュニケーター事務局
communicator@ondankataisaku.env.go.jp



環境省

登録 無料

長崎県からのお知らせ

みんなで環境活動に取り組みよう!

ながさきグリーンサポーターズクラブ 会員募集!!

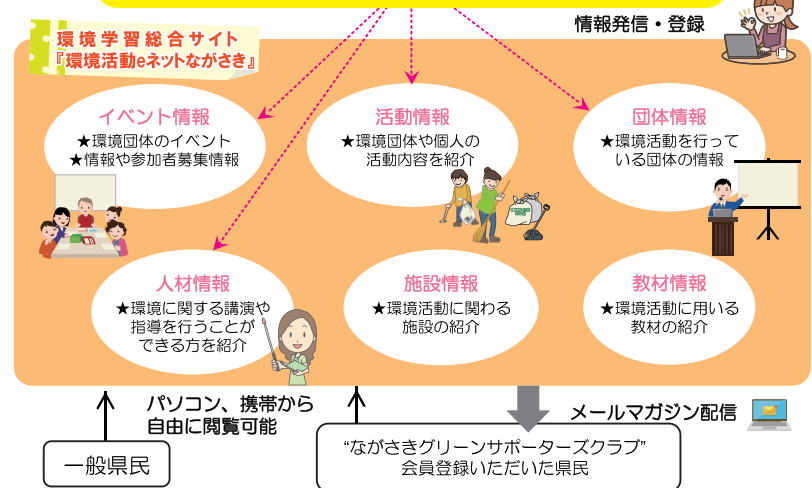
“ながさきグリーンサポーターズクラブ”とは

環境に関心のある県民の皆様や環境団体、事業者、学校等が、身近な環境保全活動や環境イベント、指導者等の情報を共有し、活動の輪を広げていただくためのクラブです。

クラブに会員登録すると...

- ① 団体または個人の環境に関する活動情報やイベント情報等を『環境活動eネットながさき』に掲載・発信でき、掲載された情報は誰でも自由に閲覧できます。
- ② 登録いただいた会員には、県内の環境情報等がメールマガジンにより配信されます。

“ながさきグリーンサポーターズクラブ”会員登録団体



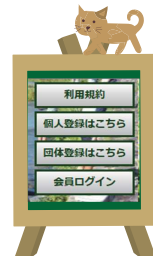
会員登録は...

「環境活動eネットながさき」URL(<http://www.kankyokatsudo-e.net/>)のトップページ右上の「個人登録はこちら(団体登録はこちら)」から登録できます。
または、会員登録票を県の環境政策課に郵送、FAXにてご提出下さい。

環境活動eネットながさきトップページ



拡大



お問い合わせ 長崎県環境部 環境政策課

長崎市江戸町2-13 TEL:095-895-2512 / FAX:095-895-2566

※環境政策課はH30.1.22から新県庁舎(長崎市尾上町3-1)に移転します。郵便物等宛先はH30.1.4から長崎市尾上町3-1となります。